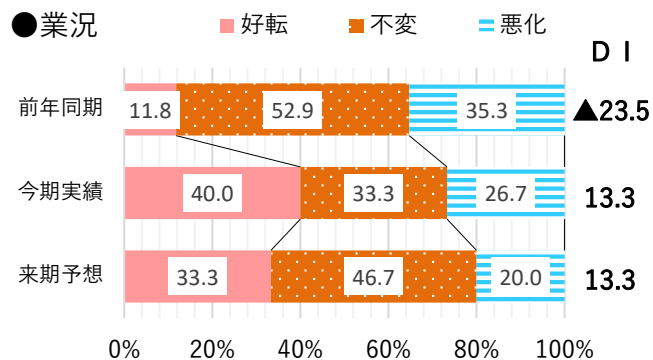


運輸・倉庫業

業況、売上、採算

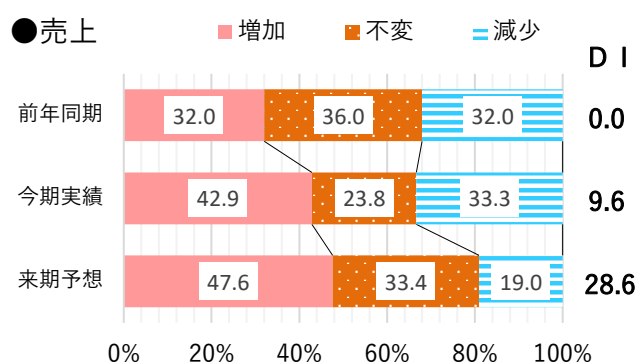
今期（2023.4～6）の業況判断DIは13.3で、前年同期（2022.4～6）と比べ36.8ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

来期（2023.7～9）は、業況の横ばいを予想しています。



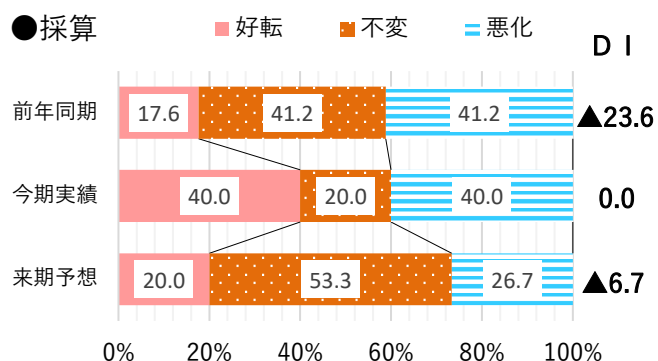
今期の売上高DIは9.6で、前年同期と比べ9.6ポイント上昇しました。

来期は、売上の増加傾向が強まると予想しています。

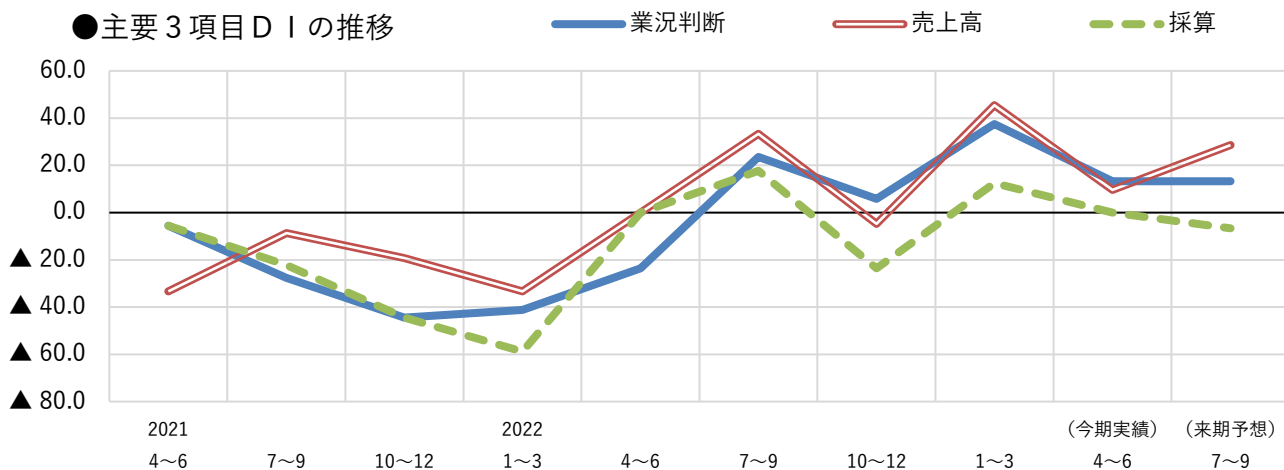


今期の採算DIは0.0で、前年同期と比べ23.6ポイント上昇しました。

来期は、採算の悪化を予想しています。



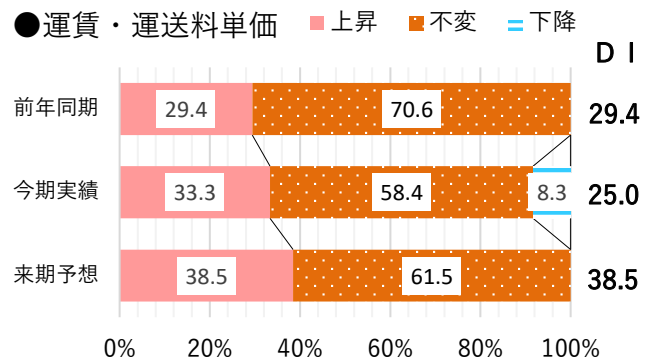
●主要3項目DIの推移



運賃・運送料単価、保管料単価

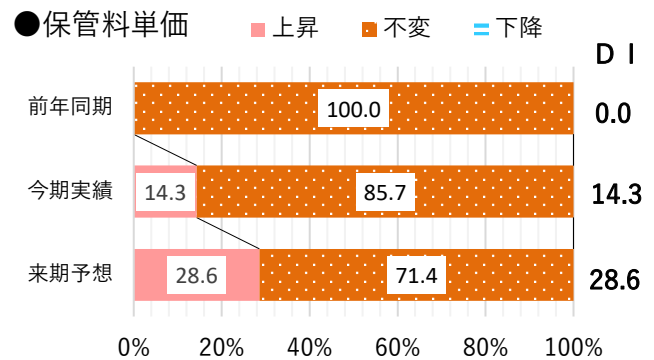
今期の運賃・運送料単価DIは25.0で、前年同期と比べ4.4ポイント低下しました。

来期は、運賃・運送料単価の上昇傾向が強まると予想しています。



今期の保管料単価DIは14.3で、前年同期と比べ14.3ポイント上昇しました。

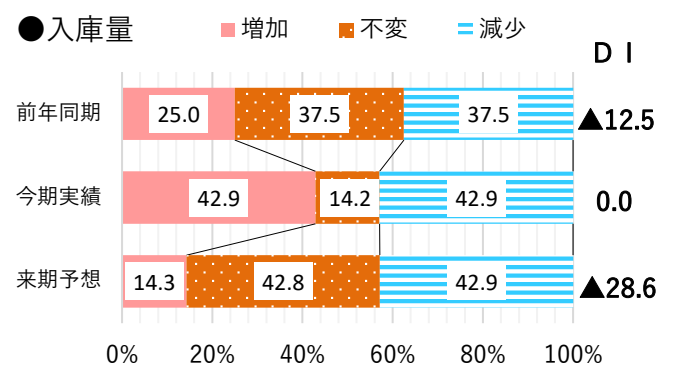
来期は、保管料単価の上昇傾向が強まると予想しています。



入庫量、出庫量、保管残高

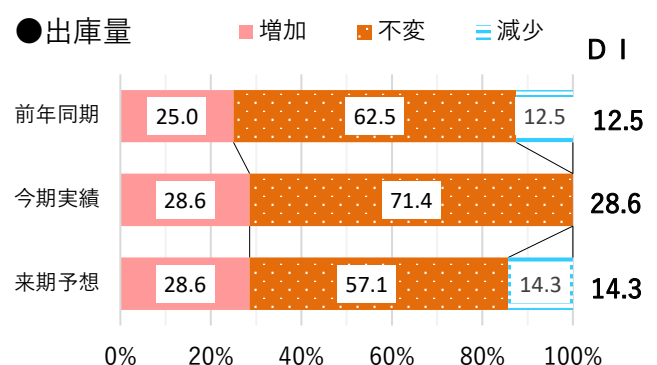
今期の入庫量DIは0.0で、前年同期と比べ12.5ポイント上昇しました。

来期は、入庫量の減少を予想しています。



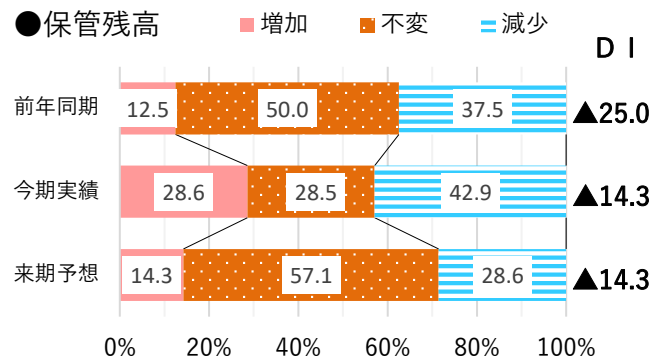
今期の出庫量DIは28.6で、前年同期と比べ16.1ポイント上昇しました。

来期は、出庫量の増加傾向が弱まると予想しています。



今期の保管残高DIは▲14.3で、前年同期と比べ10.7ポイント上昇しました。

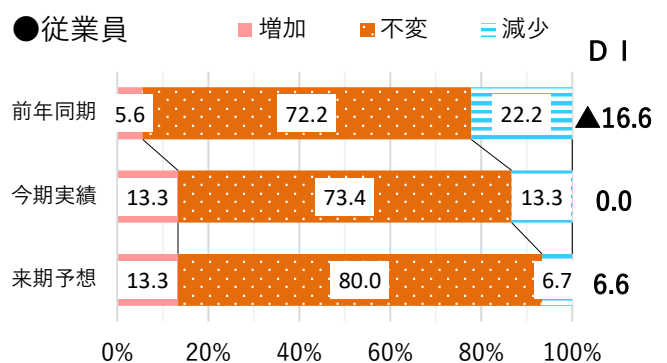
来期は、保管残高の横ばいを予想しています。



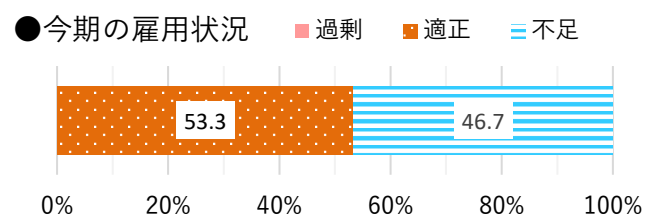
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは0.0で、前年同期と比べ16.6ポイント上昇しました。

来期は、従業員数の増加を予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は53.3%、不足していると回答した企業の割合は46.7%でした。



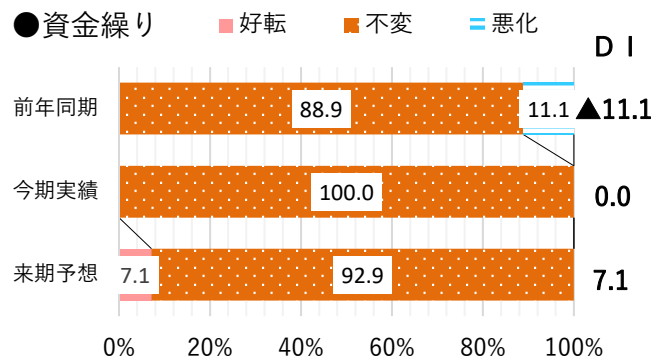
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、53.3%を占めました。残る46.7%の企業は従業員不足と回答しています。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	0
	不足	2
不変だった	過剰	0
	適正	8
	不足	3
減少した	過剰	0
	適正	0
	不足	2

資金繰り、設備投資

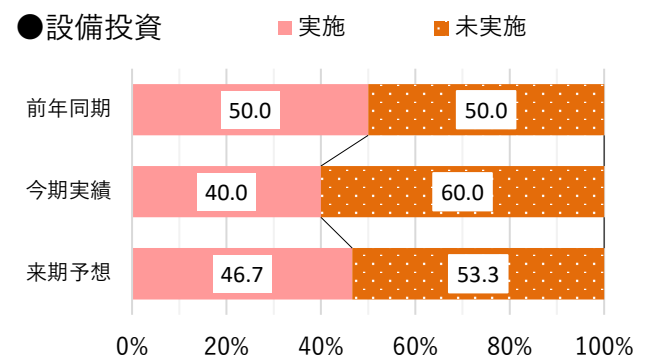
今期の資金繰りDIは0.0で、前年同期と比べ11.1ポイント上昇しました。

来期は、資金繰りの好転を予想しています。



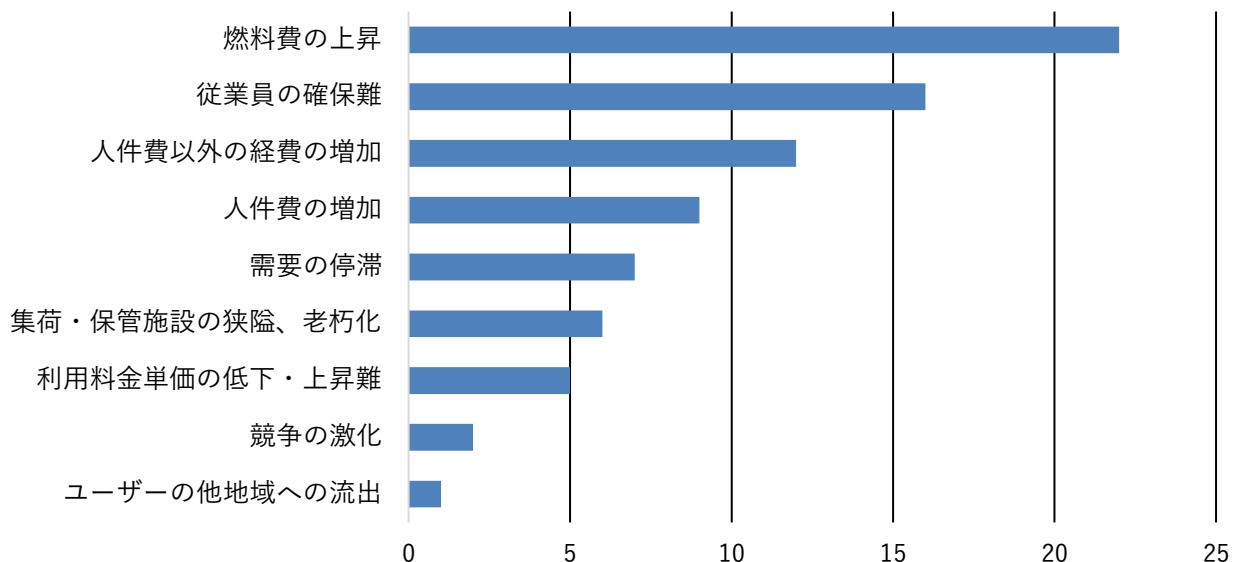
設備投資を実施した企業の割合は40.0%で、前年同期と比べ10.0%低下しました。投資内容は、1位が「輸送機材」、2位が「店舗」、「OA機器」（同位）の順です。

来期に設備投資を計画している企業の割合は46.7%で、増加を予想しています。



経営上の問題点

今期直面した経営上の問題点は、1位が「燃料費の上昇」、2位が「従業員の確保難」、3位が「人件費以外の経費の増加」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 米穀関連の入庫が伸びず、出庫が増えているため保管数量が減少し、売上が減少した。人件費は4月の改定により増加しており、厳しい状態だ。(道路貨物運送)
- 来道観光客数等の増加により、小麦粉の製造量および輸送量が増加している。(道路貨物運送)
- 燃料費、タイヤ代金、修理代金等の値上げによって採算が悪化した。(道路貨物運送)
- 新幹線工事等により運搬量が増加しており、業況は好転した。(道路貨物運送)
- 閑散期のため、大きな変動はなかった。(道路貨物運送)
- 売上は微増だったが、エネルギー関係の値上げが響いた。従業員を増やせなかった。(道路旅客運送)
- 売上は増加したが、燃料費、資材費、人件費等の上昇により業績が悪化した。(道路旅客運送)
- 売上が増加した。(道路旅客運送)
- 輸入冷凍水産物の入庫量が減少し、売上が減少した。(倉庫)
- 入庫量が増加した。(倉庫)
- 燃料費の上昇等により、売上に対する利益率が低下している。(港湾運送)
- 新型コロナウイルス流行に伴う行動制限がなくなり、全国旅行支援策も実施されたことで、コロナ前に迫る旅客需要となった。貨物は政府による燃料油価格激変緩和対策事業もあったが、物価上昇の影響で伸び悩んでいる。(水運)

[来期の業況について]

- 9月から繁忙期に入るため、業況が上向くよう期待している。(道路貨物運送)
- 新幹線工事等による業況の好転が続くと思われる。(道路貨物運送)
- 各種経費の値上げによる採算の悪化が続く。(道路貨物運送)
- 取引先との料金交渉の好転を見込む。(道路貨物運送)
- 今期同様好転要因がない。(道路貨物運送)
- お祭りやイベントによる売上増加に期待する。人材確保に取り組む。(道路旅客運送)
- 売上の増加と各種経費の増大が続く。(道路旅客運送)
- 今期同様、売上の増加を見込む。(道路旅客運送)
- 入庫量の減少及び出庫量の増加が予想される。(倉庫)
- 旅客の増加を見込む。貨物は作物の収穫期のため、数量の増加を見込む。(水運)